

～GPU・データ・モデル選定を構造的に整理する～

AI／機械学習が「遅い・重い・回らない」ボトルネックの原因と対処法

https://www.rdsc.co.jp/seminar/2604110

LIVE配信／アーカイブ

◆日時：2026年04月23日（木）13:00～16:00

【アーカイブ配信：4/24～5/1】

◆会場：WEBセミナー（オンライン開催）

◆聴講料：1名につき49,500円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円（税込）

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料（2名で49,500円（税込））

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：(株)LINK.A 代表 / (株)ネクステージ 開発部 AIアナリスト 太田 桂吾 氏

【講座の趣旨】

本セミナーでは、AI/機械学習プロジェクトを停滞させる3大要因「計算速度(GPU/Python)」「データ不足」「モデル選定の誤り」を徹底解剖します。「なぜ学習が終わらないのか?」「データが少ない中でどう精度を出すか?」「自作モデルとLLMの使い分けはどうすべきか?」といった現場の切実な疑問に対し、具体的な回避策と判断基準を提示します。

【プログラム】

1. なぜAIプロジェクトは「重く」なるのか

- 1-1 AI開発のライフサイクルとボトルネックの正体
- 1-2 「とりあえず回す」から「設計して回す」へのマインドセット転換

2. 【実行環境編】GPUの真実とPythonの限界

- 2-1 なぜGPUが必要なのか
並列演算の仕組みとVRAM容量の重要性
- 2-2 「遅い」の正体
CPU-GPU間のデータ転送ボトルネック(PCIe帯域)
- 2-3 Python特有のオーバーヘッドと、
ライブラリ(PyTorch/TensorFlow)による回避
- 2-4 混合精度演算(Mixed Precision)や分散学習の考え方

3. 【データ戦略編】量と質のトレードオフ

- 3-1 データ量の正義
スケーリング則(Scaling Laws)の基本
- 3-2 少量データでの戦い方
Data Augmentation(データ拡張)
画像・テキストでの手法
- 3-3 転移学習(Transfer Learning)
既存の知能を「借りる」技術
- 3-4 「回らない」を防ぐデータパイプライン
前処理の効率化

4. 【モデル選定編】自作AI vs 基盤モデル+プロンプト

- 4-1 徹底比較表：開発コスト、推論速度、カスタマイズ性の違い
- 4-2 自作モデル(Scratch/Fine-tuning)の出身
特定ドメインへの深い特化、エッジデバイス動作、機密データの処理
- 4-3 基盤モデル(LLM等)+プロンプトの出身
汎用タスク、プロトタイプ的高速作成、RAG(検索拡張生成)の活用
- 4-4 適用範囲の判断基準
「精度・コスト・速度」の三角形で考える

「AIボトルネック」セミナー申込書 LIVE アーカイブ ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい

会社名			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属・役職	E-mail	
①			
②			

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項を記入のうえ、FAXにてお申し込みください。弊社で内容を確認後、受領のご連絡を差し上げます。受講用URLは後日お送りいたします。

なお、お申し込み後のキャンセルは原則として承っておりません。ご都合により出席できない場合は、代理の方にご出席いただくようお願いいたします。代理の方も見つからない場合は、(土日祝日を除く)8日前までにご連絡いただければキャンセルを承ります。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>会員登録（無料） Eメール 郵送 ※ご希望の案内方法を選択してください。複数選択可。